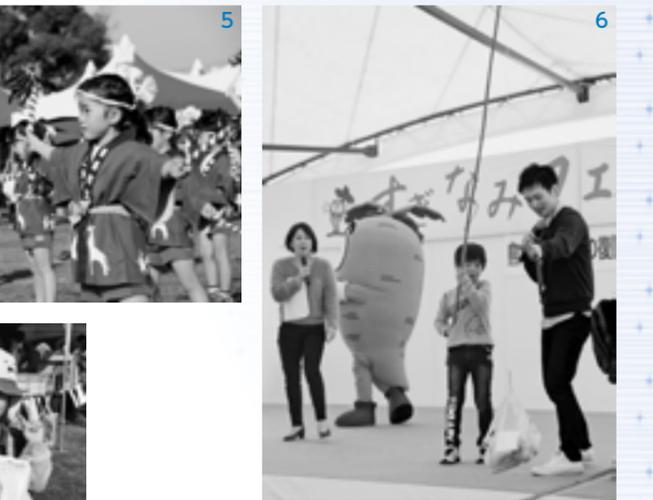


秋の収穫祭

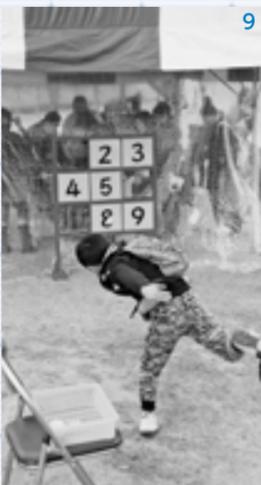
「すぎなみフェスタ」

爽やかな秋晴れの下、毎年恒例となっている「すぎなみフェスタ」が11月1日に菊陽杉並木公園スポーツ広場で行われました。約6,900人が来場し、地元農畜産物の販売や各出店者自慢の商品の販売が行われ、大盛況となりました。

フェスタPR大使のもっこすファイヤーとキャロッピーに加え、今年はいくまモン隊も一緒にステージイベントを盛り上げました。にんじん収穫体験には、319人が参加。鮮やかなオレンジ色に育ったにんじんをたくさん収穫しました。子どもたちのほじける笑顔が見られる1日になりました。



1 みんな大好きキャロッピー 2 自分で取ったにんじんはよりおいしく感じるはず 3 ステージイベントに今年はいくまモンも参加 4 ピンゴ大会の景品を荒木屋久島町長から手渡し 5 町立保育園の園児による遊戯披露 6 集中力が試されるにんじん釣り大会 7 多くの来場客の笑顔があふれた 8 プレイステーションソフト「どこでもいっしょ」のトロとキャロッピーのペットボトルキャップアート



地域の宝を後世に「鼻ぐり井手祭」

400年以上前に加藤清正が築いたとされる「鼻ぐり井手」。この歴史的農業土木遺産を後世に伝えるため、第9回鼻ぐり井手祭が11月19日、鼻ぐり井手公園で行われました。

よさこいソーラン節、餅投げなど、元気いっぱいのお祭り盛りに盛り上げました。また、地元の新鮮な野菜などの出店もあり、多くの来場者でにぎわいました。

菊陽武蔵剣豪太鼓による鼻ぐり井手の渦をイメージした「渦巻太鼓」でスタート。南小児童の音楽劇や白菊園園児の踊り、馬場桶の獅子舞、熊本菊陽学園と南小児童による

中須山側の公園では、文化財ボランティアガイドと南小3～6年生の子どもガイドが鼻ぐり井手について説明しました。熱心で分かりやすい説明は来場者にも大好評でした。

1 迫力ある馬場桶の獅子舞 2 白菊園の園児による踊りの披露 3 来場者に鼻ぐり井手の説明をする南小児童 4 南小児童による音楽劇「後の世のために」 5 力強いよさこいソーラン節 6 菊陽武蔵剣豪太鼓の熱気あふれる演奏 7 南小ゆるキャラ「サウスくん」は子どもたちに大人気 8 会場では工芸品や食べ物の販売が行われた 9 子どもたちを夢中にさせるゲームコーナー